

中学校数学教科書「数学の世界」 訂正表

※訂正のお知らせは、弊社ウェブサイトでもご確認いただけます。



2021.11.1

< 1年 >

修正箇所	原文	修正文	理由
p.21 15行目	(1)「500円の <u>損失</u> 」は、	(1)「500円の <u>支出</u> 」は、	より適切な対義語にするため
p.183 6行目～	Q1 紙に∠AOBをかき、OA上に点C、OBに点Dを、 …(中略)… また、半直線 <u>OA, OB</u> とを重ねて折り、折り目の <u>上</u> の点をPとしたとき、	Q1 紙に∠AOBをかき、OA上に点C、OB <u>上</u> に点Dを、 …(中略)… また、半直線 <u>OAとOB</u> が重なるように折り、折り目の <u>線上</u> の点をPとしたとき、	より正確な表現にするため
p.226 17行目	できた3つの <u>三角</u> 錐は、	できた3つの <u>四角</u> 錐は、	誤記
p.233 12行目	Q2 右の図の円錐で、 <u>円錐上</u> の点Aから	Q2 右の図の円錐で、 <u>底面の円周上</u> の点Aから	より正確な表現にするため
p.307 右段 下から5行目	(2) $b \div 9 \div a$	(2) <u><math>b \div (9 \times a)</math></u> または $b \div 9 \div a$	p.76 プラス・ワンの解答の示し方と合わせるため

< 2年 >

修正箇所	原文	修正文	理由
p.54 18行目	Q4 次の連立方程式を解きなさい。	Q4 次の方程式を解きなさい。	p.55 22行目の表記と合わせるため
p.164 5行目	(1) <u>四角形 ABCD が長方形ならば</u> , $AC=BD$ である。	(1) <u>四角形 ABCD で, その四角形が長方形ならば</u> , $AC=BD$ である。	p.140 5~6行目の表記と合わせるため
p.194 4行目	(3)あおいさんとカルロスさんが当たる確率をそれぞれ求めなさい。	(3)あおいさんが <u>当たる確率</u> とカルロスさんが当たる確率をそれぞれ求めなさい。	より正確な表現にするため
p.216 7行目~	(1)まず, 点AがCに重なるように <u>線分 AB を平行移動させ</u> , 次に点BがDに重なるようにするには, <u>どのように移動させればよい</u> ですか。	(1)まず, <u>線分 AB を点AがCに重なるように平行移動させました</u> 。次に, 点BがDに重なるようにするには, <u>どのように移動させればよい</u> ですか。	設問の意図をよりわかりやすくするため
p.233 左段6行目 (p.161 3の解答)	3 ア 1組の対辺が平行で <u>長さが等しい</u> 。	3 ア 1組の対辺が平行で等しい。	p.154「平行四辺形であるための条件」定理4に合わせた表現にするため
p.233 左段16行目 (p.164②(1)の解答)	(1) <u><math>AC=BD</math> である四角形 ABCD は</u> , 長方形である。成り立たない。	(1) <u>四角形 ABCD で, <math>AC=BD</math> ならば</u> , その四角形は長方形である。成り立たない。	問題文の修正に伴う変更
p.233 左段24行目 (p.164③の解答 5行目~)	<u>底角が等しい</u> ので, $\triangle PBC$ は二等辺三角形である。	<u>2つの角が等しい</u> ので, $\triangle PBC$ は, <u><math>PB=PC</math> の二等辺三角形</u> である。	より正確な表現にするため
p.234 左段13行目~ (p.166(3)の解答 5行目~)	仮定から, $\angle PEB = \angle PAB = 90^\circ$ また, $\angle FCB = 90^\circ$ なので, $\angle BCF = \angle BEF = 90^\circ$ ……② …(中略)… 対応する頂点だから, 点Cは点Eと重なる。	仮定から, $\angle PEB = \angle PAB = 90^\circ$ <u><math>\angle PEF = 180^\circ</math> より, <math>\angle BEF = 90^\circ</math></u> また, $\angle BCF = 90^\circ$ なので, $\angle BCF = \angle BEF = 90^\circ$ ……② …(中略)… <u>したがって, 対応する頂点だから, BF を折り目にして折ると, 点Cは点Eと重なる。</u>	より正確な表現にするため

修正箇所	原文	修正文	理由
p.237 右段 16 行目～ (p.216 11(1)の解答)	(1) 線分 AB を線分 AC の方向に A C の長さだけ平行移動させ、点 A を回転の中心として回転移動させる。	(1) (例) 線分 BD の垂直二等分線対称軸として対称移動させる。	問題文の修正に伴う変更移動のしかたは 1 通りではないため、(例)と記載
p.237 右段 19 行目～ (p.216 11(2)の解答)	(2) 点 A と点 C から等しい距離にある直線と、点 B と点 D から等しい距離にある直線との交点を回転の中心として、回転移動させる。	(2) 線分 A C の垂直二等分線と、線分 B D の垂直二等分線との交点 O を回転の中心として、反時計回りに $\angle A O C$ の大きさだけ回転移動させる。	より正確な表現にするため
p.239 左段 18 行目 (p.222 24 の解答)	24 ア 1 組の対辺が平行で <u>長さが等しい</u> 。	24 ア 1 組の対辺が平行で等しい。	p.154「平行四辺形であるための条件」定理 4 に合わせた表現にするため
p.240 左段 4 行目  左段 16 行目 (p.226④の解答)	対頂角 <u>は等しいので</u> 、  対頂角 <u>は等しいので</u> 、	対頂角 <u>だから</u> 、  対頂角 <u>だから</u> 、	証明の表記の統一のため
巻末 1 下部	 リスーピア (東京都江東区)	削除	リスーピアが 2020 年 12 月に閉館したため。

< 3年 >

修正箇所	原文	修正文	理由
p.24 例1(2)	公式3を <u>を使う</u>	公式3を 使う	誤記
p.153 4行目～	④ ③から，四角形FBCEは1組の対辺が平行で <u>長さが等しい</u> ので，平行四辺形である。	④ ③から，四角形FBCEは1組の対辺が平行で 等しいので，平行四辺形である。	2年 p.154「平行四辺形であるための条件」定理4に合わせた表現にするため
p.263 22行目 ( <u>22</u> (3))	(3) $4x^2 - \underline{4}x - \underline{3} = 0$	(3) $4x^2 - \underline{5}x - \underline{6} = 0$	p.90Q2(3)と同じ式にならないようにするため
p.282 右段 20行目  33行目	対応する辺の <u>比は等しい</u> から，  対応する辺の <u>比は等しい</u> から，	対応する辺 <u>だから</u> ，  対応する辺 <u>だから</u> ，	証明の表記の統一のため
p.288 左段 下から5行目 (p.263 <u>22</u> (3)の解答)	(3) $x = \frac{3}{2}, x = -\frac{1}{2}$	(3) $x = 2, x = -\frac{3}{4}$	問題の修正に伴う変更
p.290 左段 17行目	④，⑤から，1組の対辺が平行で <u>長さが等しい</u> ので，	④，⑤から，1組の対辺が平行で等しいので，	2年 p.154「平行四辺形であるための条件」定理4に合わせた表現にするため